



学校だより

あーよかったな あなたがいて

第1号

平成30年4月19日
高岡市立戸出西部小学校

新1年生52名が入学。全校児童364名で新学期スタート！



校長 要藤 明人

4月5日(木)に入学式を開催しました。新1年生の男子33名、女子19名が「西部っ子」の仲間入りです。今年度は全校児童364名(男子190名、女子174名)でスタートです。

入学児童紹介では、名前を呼ばれると手を上げ、大きな声で返事をしていました。今年の1年生も「大きな声であいさつできる」元気な西部っ子になってくれるものと思います。

優しい気持ちの2年生から6年生の子供たちも1年生のことを気にかけてくれます。困ったことがあったら必ず助けてくれるので安心です。

我々教職員はあわてず、落ち着いて指導を行っていくつもりです。保護者の皆様もゆとりをもってお子さんに接していただけるとありがたいです。1年間、よろしくお祈りします。

第57回創校記念式開催、伝統を受け継ぎます

4月12日(木)に創校記念式を開催しました。昭和36年4月1日に誕生した戸出西部小学校は、今年の4月1日で57歳となりました。式の中で、3つの輪のもつ2つの思い・願いを子供たちに伝えました。

1つ目は、「融和」仲がよいこと、「実行」進んでよいことを行うこと、「誠実」まじめで真剣に行うこと。この3つの精神をもった児童に育ててほしいという思い・願いです。

2つ目は、統合された是戸小学校、醍醐小学校、戸出小学校(一部)がある地区の「児童が仲よく力を合わせて学んでほしい」という思い・願いです。

学校の歴史は、時代とともに変わりますが、校章の3つの輪のもつ、思い・願いは変わりません。このことを忘れずにいてほしいと願っています。



詩紹介① (今年度も詩のコーナーを設置しています)

し顔お わにば がはあ いち っちゃん ぱいの	④ 四 しお月 わば十 あ一 ち日 ちゃん の	□ 天間天 気か気 はな予 明い報 日よは の(小 1)樹	③ 四 遠月 足十 日	思□ お花 う日 やと様 ろを芽 う見た なたら	② 四 花月 六日	みまト屋お たるイ寝兄 いでレかち だ□にらゃ っ行さん たつめが よたて	① 四 昼月 寝四 日
--	---	---	----------------------	---	-----------------	---	----------------------



で言煮ちおカ出カ私言母っ今 もっ付や母レてレはははて日 てけんさんイきーた力間の よっとなのたが大が てカレ煮のの好 レイ付けけ物	⑤ 四 母月 の十六 力六日 レ日	□ だ もわし ぼがた く増ら はえも たっ と	でしそにとお少し紙顔お太額あ もわし笑っばなくわにをばいをる ぼがたっであくを描あの数 く増らたもち描二いちがえ はえも嬉やい本たたゃ十た たっしんたらん二ら とそはら
--	-------------------------------	--	--

<学校教育目標>

今年度の学校教育目標を「**わかる・できる・つなぐ**」 **わくわく学ぶ子供の育成**とし、重点目標は、「見付けよう 伝えよう 行動しよう」としました（昨年度と同様です）。始業式では、この目標を話した後、「間違いOK！失敗OK！」の話を以下のようにしました。『私たちは、成長するために、ハッピーになるために生まれてきました。そのために間違っても失敗もあります。それは、挑戦したからこそ、行動したからこそ起きたことです。間違いや失敗は、自分の成長に役立つだけでなく、教室のみんなの成長にもつながる。だから、安心して、堂々と間違えて、失敗して成長してきましょう。間違いや失敗の数が多いほど、たくさんの気付きがあるのです』間違いや、失敗からも「わくわく学ぶ」ことができます。私たち大人も子供たちにわくわくしてるところを見せることで、わくわくのつながりができる学校と家庭となれば素敵ですね。

子供の心の成長に褒めることは大事 叱ることは…



昨年の学校だより第10号で、必ず褒めることが見付かる3つのポイントを紹介しました（明橋大二氏より）。『①できないことよりできていることに注目する。②できて当たり前ではなく、できなくて当たり前。③比較するなら他人とするのではなく以前のその子供とする』という内容でした。

叱ることについてはどうでしょうか。もちろん、いけないことをしたら毅然と叱る場面もあると思います。しかし、感情的に叱ったのでは子供の心には届きません。かえって事態が悪化することもあります。

叱り方名人？のシンクロコーチ井村雅代氏は「結果を出す力」の著書で叱る時は「三点セット」で叱るとよいと述べています。以下紹介します。

『①選手の悪いところをはっきりと指摘している。②必ず悪いところを直す方法を伝える。そうしないと自信をなくす。③直せたかどうかを確認する。改善できたかどうかを確かめるのは、口で言うほど簡単ではありません。できるようになるまでやり続けなくてはならないからです』ただ、叱るだけでは人は伸びないと井村雅代氏は考えています。褒めるにしろ、叱るにしろ、大人が子供と真剣に向き合っていることが大事なのでしょう。明橋大二氏のような褒め方名人、井村雅代氏のような叱り方名人の共通点が、相手のことを思う強さ（愛）だとしたら、案外、負けない人も多いかもしれません。それでも、それが強すぎて反発される場合も…。褒めること、叱ることは永遠の課題の一つかもしれませんね。

奇跡を起こそう 西部っ子③ 教室は、どっち？

4月9日（月）に、交通安全教室を開催し、1年生が、横断歩道の渡り方等の指導を受けました。車に気を付け、安全に登下校できることが一番大切なことです。

さて、朝、どの教室でも健康観察を行い、健康観察簿を保健室まで持ってきます。ある朝、1年生二人がその役目を終えて、保健室から出てきました。教室へ戻るのかなと見ていると、体育館方向へ向かっています。その後、右に曲がり、体育館玄関入口までやってきました。ようやく、そこで、方向が違うのに気付いたようです。心配してる私の顔をよそに、何事もなかったような涼しい顔で教室へ戻っていきました。今年の一年生もたくましくそうです。



